



蛸壺で見る夢

佐伯 仁

●信仰と薬効のシンボル

八月。海。人が求めた海の幸は蛸・蛸壺は弥生遺跡から出土している。

「出雲風土記」に蛸の名があり、その他の古文書には隠岐おき、肥後から

「乾し蛸」献上の記述もある。

蛸壺漁は室町期から行なわれたが、今は輸入蛸が圧倒的：観光用にわずかに受け継がれている。

一方、蛸は海中で動く物を素早く捕え、環境に応じ、体色を変え、危険を察すると墨を吐き、敵を欺き逃走：知能ある動きと吸盤のある八本足―丸い頭(実は腹)が禿頭の人を連想させ「タコ坊主」などの卑語を生んだ。奇怪な姿は怪異談を生み、畏れが信仰心を育み「蛸地藏」を誕生させた。大阪・岸和田・天性寺は有名で南海電車の駅名にもなっている。

蛸が背中に薬師仏を乗せ、漂着した伝説は京都新京極の永福寺、東京下目黒の成就院が有名：

疣いぼや痔には蛸を断って祈れば、蛸の霊力で治癒するという俗信もある。霊験とは別に蛸の成分(タウリン)は疲労回復用

ドリンク剤へ：

一方、浄土宗の寺では「蛸十夜」(陰暦十月)の法要の夜、門前では疫病逃れの蛸を売る屋台が店びらきしていたとか：

蛸壺やはかなき

夢を夏の月

芭蕉